

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	こどもと体育Ⅱ	
<b>科目基礎情報</b>						
開設学科	こども学科	コース名	幼稚園教諭・保育士コース		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修		時間数	15時間
単位数	1単位	授業形態	演習			
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。					
<b>担当教員情報</b>						
担当教員	前高西珠世		実務経験の有無・職種	有・スポーツクラブこどもスクールインストラクター		
<b>学習目的</b>						
<p>リズム体操を軸として、保育者・教育者としての子どもの多様な遊びを指導できる運動遊びの指導法を身につけることを目的とする。</p> <p>こどもの運動遊びは、訓練的にならずこどもたちが能動的に取り組み、多くの体験ができるような環境を設定することが大切である。リズム体操を軸に運動遊びの指導法を習得するとともに、保育現場で必要となる動きの手本の見せ方を身につける。年齢や環境に応じた指導ができるとともに、こどもの発育発達に則した運動遊びの指導法を身につける。</p>						
<b>到達目標</b>						
<p>◎到達目標：</p> <p>1. こどもの発育発達に則した運動能力を理解し、年齢にあったリズム体操を考案し指導ができる。</p> <p>2. 身体表現分野の理解を深める。</p> <p>3. 指導技術としての援助法や安全対策についての知識を身に付ける。</p>						
<b>教育方法等</b>						
授業概要	こどもの運動遊びの必要性や発育発達段階を理解しながら学び、安全に楽しく運動遊びを実施するための指導方法と援助方法について学ぶ。具体的には、こどもの発育発達に即した運動能力を理解し、年齢にあった基礎的な運動として、リズム体操の基礎を学び、習得した知識・経験をもとに子ども向けリズム体操を創作・発表する。					
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。講義開始時間は厳守。開始後10分までは遅刻、それ以上の遅刻は欠席とみなす。ただし、受講は可能。保育者として運動するにふさわしい服装にて参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業では実技的活動だけでなく、毎回の課題であるワークシートを使用し知的理解を深める事。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定することができない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	平常点	40%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
	成果発表	30%	保育に必要な運動実技の基礎が身についているか確認するために実施する			
	筆記試験	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する			
<b>授業計画（1回～8回）</b>						
回	授業内容		各回の到達目標			
1回	リズム体操の基本①		リズム体操基本ステップを習得し、リズム体操の実際を体験する。			
2回	リズム体操の基本②		リズム体操基本ステップを習得し、リズム体操の実際を体験する。			
3回	幼児向けリズム体操創作①		創作のねらいを明確にする。グループ分け。動きの原案作り。曲探し。			
4回	幼児向けリズム体操創作②		動きの原案をもとに創作開始。曲の分析。			
5回	幼児向けリズム体操創作③		振付け作業。			
6回	幼児向けリズム体操創作④		振付け作品仕上げ。発表。振り返り。			
7回	表現遊び		表現遊びの実際を体験し、理解を深める。			
8回	まとめ		こどもと体育Ⅰ・Ⅱ振り返り			
9回						
10回						
11回						
12回						
13回						
14回						
15回						

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	こどもと体育Ⅱ	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	こども学科	コース名	保育士コース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	15時間
単位数	1単位	授業形態	演習		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	前高西珠世	実務経験の有無・職種	有・スポーツクラブこどもスクールインストラクター		
<b>学習目的</b>					
<p>リズム体操を軸として、保育者・教育者としての子どもの多様な遊びを指導できる運動遊びの指導法を身につけることを目的とする。</p> <p>こどもの運動遊びは、訓練的にならずこどもたちが能動的に取り組み、多くの体験ができるような環境を設定することが大切である。リズム体操を軸に運動遊びの指導法を習得するとともに、保育現場で必要となる動きの手本の見せ方を身に付ける。年齢や環境に応じた指導ができるとともに、こどもの発育発達に則した運動遊びの指導法を身につける。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>◎到達目標：</p> <p>1.こどもの発育発達に則した運動能力を理解し、年齢にあったリズム体操を考案し指導ができる。</p> <p>2.身体表現分野の理解を深める。</p> <p>3.指導技術としての援助法や安全対策についての知識を身に付ける。</p>					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	こどもの運動遊びの必要性や発育発達段階を理解しながら学び、安全に楽しく運動遊びを実施するための指導方法と援助方法について学ぶ。具体的には、こどもの発育発達に即した運動能力を理解し、年齢にあった基礎的な運動として、リズム体操の基礎を学び、習得した知識・経験をもとに子ども向けリズム体操を創作・発表する。				
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。講義開始時間は厳守。開始後10分までは遅刻、それ以上の遅刻は欠席とみなす。ただし、受講は可能。保育者として運動するにふさわしい服装にて参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業では実技的活動だけでなく、毎回の課題であるワークシートを使用し知的理解を深める事。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	平常点	40%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
	成果発表	30%	保育に必要な運動実技の基礎が身についているか確認するために実施する		
	筆記試験	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
<b>授業計画（1回～8回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	リズム体操の基本①	リズム体操基本ステップを習得し、リズム体操の実際を体験する。			
2回	リズム体操の基本②	リズム体操基本ステップを習得し、リズム体操の実際を体験する。			
3回	幼児向けリズム体操創作①	創作のねらいを明確にする。グループ分け。動きの原案作り。曲探し。			
4回	幼児向けリズム体操創作②	動きの原案をもとに創作開始。曲の分析。			
5回	幼児向けリズム体操創作③	振付け作業。			
6回	幼児向けリズム体操創作④	振付け作品仕上げ。発表。振り返り。			
7回	表現遊び	表現遊びの実際を体験し、理解を深める。			
8回	まとめ	こどもと体育Ⅰ・Ⅱ振り返り			
9回					
10回					
11回					
12回					
13回					
14回					
15回					